

## 第40回原産年次大会 セッション内容

### 開会セッション

4月10日（火）9：30～11：00

議長：高橋 宏明 東北電力(株) 社長

#### 【所信表明】

今井 敬 (社)日本原子力産業協会 会長

#### 【大会準備委員長挨拶】

遠藤 正彦 弘前大学 学長

#### 【講演】

三村 申吾 青森県知事

近藤 駿介 原子力委員長

### 特別講演 1

4月10日（火）11：15～12：00

地球環境問題の重要性の観点から、ここでは地球温暖化に関する専門家より講演をいただき、広い視点での原子力の役割について考え、以降のセッションの議論に資する。

議長：中垣 喜彦 電源開発(株) 社長

「地球環境をみつめる——気候変動に関する最新の知見をもとに」（仮題）

ラジェンドラ パチャウリ 気候変動に関する政府間パネル 議長

### 学生セッション

4月10日（火）12：15～14：00

（主催：日本原子力学会 学生連絡会）

<企画案>

原子力産業界の技術者・研究者と原子力専攻の学生等で意見を交わし、原子力産業界に対する学生の認識向上と広く原子力の発展に資することを目的とする。

**来賓挨拶****4月10日（火）14：15～15：00**

議長：遠藤 正彦 弘前大学 学長

伊吹 文明 文部科学大臣（依頼中）

高市 早苗 科学技術政策担当大臣（依頼中）

甘利 明 経済産業大臣（依頼中）

---

**特別講演2****4月10日（火）15：00～15：30**

議長：鈴木 篤之 原子力安全委員長

「再興する米国の原子力発電と原子力安全規制の将来展望」（仮題）

デイル クライン 米国原子力安全規制委員会（NRC）委員長

---

**セッション1****4月10日（火）15：30～18：00**

「拡大する世界の原子力発電と原子力産業メインプレーヤーの展望」

世界における原子力発電計画の拡大傾向に呼応するように、昨今、企業の合併・事業提携を含め原子力産業の動きが活発化している。国際化していくこれら巨大企業は、今後の原子力開発において大きな役割を果たしていくものと考えられる。

このセッションでは、世界的な原子力産業のメインプレーヤーが原子力の将来をどのように展望しているのかを示し、今後の原子力発電市場への戦略等を紹介する場とする。

議長：勝俣 恒久 東京電力(株) 社長

**【基調講演】**

「国際エネルギー情勢と原子力への期待」（仮題）

寺島 実郎 （財）日本総合研究所 会長

講演者：

アンヌ ローベルジョン アレバ社 会長

セルゲイ キリエンコ ロシア原子力庁 長官、元 ロシア連邦首相

アンドリュウ ホワイト GEニュークリア・エナジー社 社長

庭野 征夫 （株）東芝 副社長、東芝ニュークリアエナジー米国社 会長兼社長

## セッション2

4月12日(木) 9:30~12:30

### 「今後、原子燃料は安定的に供給されるか」

エネルギー安全保障や地球温暖化への有効な対策として、欧米諸国とならび中国やインドを始めとする開発途上国が原子力発電の拡大に傾斜していくことは、必然的な動きである。将来にわたってウラン資源や濃縮の供給能力は、世界の需要を担保しうるか、また、核不拡散を促進しつつ、拡大するニーズに対して燃料の安定供給が将来にわたり確保できるかどうかは、原子力発電の将来を左右する。さらに、供給能力を拡大する観点から極めて重要な燃料のリサイクルが鍵を握っている。

このセッションでは、原子燃料供給者と受領者が、将来の原子燃料市場を展望し、安定供給のあり方について論じるとともに、今後わが国の燃料サイクル事業を安定的に展開するための課題を探る。

議長：秋元 勇巳 (社)日本原子力産業協会 副会長、  
三菱マテリアル(株) 名誉顧問

#### パネリスト：

スティーブ キッド 世界原子力協会(WNA) 戦略・研究部長  
モフタール ジャキシエフ カザフスタン原子力公社 社長  
ジェイ セイヤー 米原子力エネルギー協会(NEI) 副理事長  
ヴォン フー タン ベトナム原子力委員会(VAEC) 委員長  
森本 浩志 電気事業連合会 原子力開発対策委員会 委員長、  
関西電力(株) 副社長  
モーリス レンダース URENCO 専務取締役

## セッション3

4月12日(木) 13:45~16:15

### 「Locally and Globally——青森が世界の原子力に果たす役割」

青森県には現在、東通原子力発電所および六ヶ所燃料サイクル施設が立地するほか、大間原子力発電所、リサイクル燃料貯蔵施設の建設準備が進められている。このように、同県には、原子力エネルギーの利用技術が、発電、燃料サイクルのほぼ全てにわたり事業として蓄積されつつあり、わが国の原子力立国実現の観点から重要な役割を果たしている。

このセッションでは、原子力エネルギー開発利用の拠点地域(Locally)としての青森県に焦点をあて、各施設の現状等を紹介するとともに、地域の視点を交え、それらのもつ世界的な意義(Globally)について考えることとする。

議長：神田 啓治 京都大学 名誉教授、エネルギー政策研究所 所長

### 【基調講演】

「世界の中の原子力立国日本——その実現に果たす青森の役割」 (仮題)

望月 晴文 経済産業省 資源エネルギー庁 長官

パネリスト：

蝦名 武 青森県 副知事

岡崎 俊雄 (独)日本原子力研究開発機構 理事長

兒島 伊佐美 日本原燃(株) 社長

末永 洋一 青森大学 総合研究所 所長 教授

榎本 晃章 電気事業連合会 副会長

---

## 大会ステートメント

服部 拓也 (社)日本原子力産業協会 副会長

以 上